



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月31日

上場会社名 コタ株式会社 上場取引所 東証第一部  
 コード番号 4923 URL http://www.cota.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小田 博英  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 廣瀬 俊二 TEL (0774) 44-4923  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月5日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年3月期第1四半期の業績 (平成26年4月1日～平成26年6月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,188	14.5	17	△46.6	19	△43.2	8	△47.5
26年3月期第1四半期	1,037	1.8	32	△50.7	34	△50.0	16	△56.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	0.74	—
26年3月期第1四半期	1.41	—

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	7,178	6,051	84.3
26年3月期	7,777	6,185	79.5

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 6,051百万円 26年3月期 6,185百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

3. 平成27年3月期の業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,617	11.0	253	39.1	252	37.2	163	43.3	14.07
通期	6,441	9.6	1,097	20.0	1,096	22.6	706	32.3	60.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期1Q	11,639,595株	26年3月期	11,639,595株
27年3月期1Q	7,133株	26年3月期	5,597株
27年3月期1Q	11,633,018株	26年3月期1Q	11,634,788株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、経済政策の効果により企業収益に改善が見られ、緩やかな景気回復への動きが見られました。

一方で、美容業界におきましては、来店客数の減少や客単価の下落等、依然、美容室にとって厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社におきましては創業精神である「美容業界の近代化」をベースに、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」を引き続き展開し、お取引先美容室の業績向上に向けた提案や経営に関する支援を行いました。

売上高につきましては、平成26年5月に発売した整髪料の新製品が好調であったことから前年同四半期を上回りました。

また、売上原価につきましては増収に伴い増加いたしました。販売費及び一般管理費につきましては、本社施設の一部改修費用に加え、新製品の発売に伴う販売促進費等の増加により、前年同四半期を上回りました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,188百万円（前年同四半期比14.5%増）、営業利益は17百万円（前年同四半期比46.6%減）、経常利益は19百万円（前年同四半期比43.2%減）、四半期純利益は8百万円（前年同四半期比47.5%減）となりました。

セグメントの業績を示すと以下のとおりであります。

#### ① トイレタリー

トイレタリー（シャンプー、トリートメント）は当社の主軸となる製品群であります。毛髪のダメージケアに対する消費者の関心の高まりから、一般市場品におきましても高付加価値なトイレタリー製品へのニーズが増加しております。

当社では、美容室の来店客に対する毛髪及びヘアケアのコンサルティング提案をベースに、主力の「コタ アイ ケア」を中心とした店販を継続して提案・推進することで着実に実績を伸ばし、お取引先美容室の業績向上と成長につなげることができました。

しかしながら、当第1四半期累計期間の売上高は582百万円（前年同四半期比10.5%減）、セグメント利益（売上総利益）は427百万円（前年同四半期比12.2%減）となりました。

#### ② 整髪料

ヘアスタイルの多様化に伴い、一般市場品との競合が激しいセグメントとなっております。

当社では、平成26年5月に発売した新製品「コタスタイリング ベース」を中心に、美容室でのコンサルティングを通じた店販の推進に注力いたしました。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は426百万円（前年同四半期比132.5%増）、セグメント利益（売上総利益）は307百万円（前年同四半期比118.1%増）となりました。

#### ③ カラー剤

白髪を染めるグレイカラーと若年層中心のファッションカラーを含め、一般市場品との競合が激しいセグメントとなっております。

当社では、主力の「グラフィカ」におきまして、専用の販促ツールを活用し、拡販に注力してまいりました。

しかしながら、当第1四半期累計期間の売上高は71百万円（前年同四半期比14.3%減）、セグメント利益（売上総利益）は49百万円（前年同四半期比12.8%減）となりました。

#### ④ 育毛剤

一般市場品との競合が激しいセグメントとなっておりますが、美容室におきましては、頭皮ケアへの関心の高まりからヘッドスパメニューが推進されております。

当社では、主力の「コタセラ」シリーズを中心に、頭皮の洗浄や育毛効果のあるヘッドスパメニュー等の導入提案に注力いたしました。

しかしながら、当第1四半期累計期間の売上高は38百万円（前年同四半期比4.0%減）、セグメント利益（売上総利益）は30百万円（前年同四半期比4.8%減）となりました。

#### ⑤ パーマ剤

ヘアスタイルのトレンドがパーマに回帰する傾向は見受けられず、パーマ市場は引き続き減少傾向にあると推測されます。

当社では、主力の「コタウェーブ リジカル」を中心に、美容室に対してパーマメニューの提案を積極的に行ってまいりました。

しかしながら、当第1四半期累計期間の売上高は25百万円(前年同四半期比21.9%減)、セグメント利益(売上総利益)は15百万円(前年同四半期比30.8%減)となりました。

⑥ その他

美容室で利用されるDMやチラシ等の販促物の販売、施術時に使用する美容小物品等の販売、美容室の店舗改装及び出店時に必要な美容器具類の販売、並びに美容室のアシスタントスタッフを対象とした美容技術を学ぶことができる講座である「コタアカデミー」の受講料等の収入を計上しております。

当第1四半期累計期間の売上高は44百万円(前年同四半期比6.1%減)、セグメント利益(売上総利益)は24百万円(前年同四半期比1.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期会計期間の総資産は、前事業年度から598百万円減少し、7,178百万円となりました。

主な要因としては、商品及び製品が122百万円増加し、有価証券が464百万円、受取手形及び売掛金が295百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間の負債は、前事業年度から464百万円減少し、1,127百万円となりました。

主な要因としては、未払法人税等が291百万円、未払金が201百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間の純資産は、前事業年度から134百万円減少し、6,051百万円となりました。

主な要因としては、利益剰余金132百万円が減少したことによるものであります。なお、自己資本比率は、84.3%(前事業年度79.5%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び四半期純利益につきましては、本社施設の一部改修費用に加え、新製品の発売に伴う販売促進費等の増加もあり減益となりましたが、減少額は小さいものと判断しております。当社は営業戦略上、利益の構成比率は下半期のウェイトが大きく、特に第1四半期における利益の構成比率は小さくなっております。第2四半期以降につきましては、夏の繁忙期において「コタ アイ ケア」を中心としたトイレタリーと新製品「コタスタイリング ベース」を追加した整髪料の需要が増加することに加え、主要販売先である旬報店の開拓が進むことも見込まれることから、平成26年5月9日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期会計期間の期首の前払年金費用が87,857千円及び利益剰余金が70,633千円増加し、退職給付引当金が21,415千円減少しております。また、当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ6,155千円減少しております。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,829	38,696
受取手形及び売掛金	1,205,436	909,785
有価証券	2,378,259	1,913,492
商品及び製品	470,805	592,912
仕掛品	8,115	7,822
原材料及び貯蔵品	158,720	172,793
その他	132,784	152,845
流動資産合計	4,382,952	3,788,347
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,378,821	1,354,062
土地	1,158,906	1,158,906
その他(純額)	431,421	406,800
有形固定資産合計	2,969,148	2,919,769
無形固定資産	62,869	57,312
投資その他の資産	362,488	413,269
固定資産合計	3,394,506	3,390,352
資産合計	7,777,458	7,178,700
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	92,483	109,642
未払金	381,960	180,173
未払法人税等	295,000	3,872
賞与引当金	176,738	83,262
役員賞与引当金	—	6,160
販売奨励引当金	42,895	62,278
その他	91,212	172,342
流動負債合計	1,080,289	617,732
固定負債		
退職給付引当金	21,415	—
役員退職慰労引当金	379,870	390,452
長期預り保証金	110,633	119,328
固定負債合計	511,918	509,780
負債合計	1,592,207	1,127,512
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	330,801	330,801
利益剰余金	5,468,770	5,336,518
自己株式	△2,852	△4,641
株主資本合計	6,184,519	6,050,478
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	731	709
評価・換算差額等合計	731	709
純資産合計	6,185,251	6,051,187
負債純資産合計	7,777,458	7,178,700

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,037,376	1,188,241
売上原価	272,637	332,507
売上総利益	764,738	855,734
販売費及び一般管理費	732,167	838,338
営業利益	32,571	17,395
営業外収益		
受取利息	395	472
受取配当金	1,678	1,620
受取賃貸料	1,502	1,565
雇用調整助成金	1,350	570
その他	996	855
営業外収益合計	5,923	5,083
営業外費用		
たな卸資産廃棄損	1,070	1,858
賃貸費用	786	342
固定資産除却損	1,011	40
その他	681	402
営業外費用合計	3,549	2,644
経常利益	34,945	19,835
税引前四半期純利益	34,945	19,835
法人税、住民税及び事業税	930	930
法人税等調整額	17,554	10,263
法人税等合計	18,485	11,194
四半期純利益	16,459	8,641

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	トイレットリー	整髪料	カラー剤	育毛剤	パーマ剤	計		
売上高								
外部顧客への売上高	650,635	183,457	83,341	39,872	33,100	990,406	46,969	1,037,376
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	650,635	183,457	83,341	39,872	33,100	990,406	46,969	1,037,376
セグメント利益	487,395	141,216	56,523	31,987	22,414	739,537	25,201	764,738

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、美容室で利用されるDMやチラシ等の販促物の販売、施術時に使用する美容小物品等の販売、美容室の店舗改装及び出店時に必要な美容器具類の販売等、並びに美容室のアシスタントスタッフを対象とした美容技術を学ぶことができる講座である「コタアカデミー」の受講料等の収入を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	739,537
「その他」の区分の利益	25,201
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△732,167
四半期損益計算書の営業利益	32,571

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	トイレットリー	整髪料	カラー剤	育毛剤	パーマ剤	計		
売上高								
外部顧客への売上高	582,010	426,560	71,426	38,285	25,848	1,144,131	44,110	1,188,241
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	582,010	426,560	71,426	38,285	25,848	1,144,131	44,110	1,188,241
セグメント利益	427,731	307,947	49,261	30,460	15,510	830,911	24,822	855,734

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、美容室で利用されるDMやチラシ等の販促物の販売、施術時に使用する美容小物品等の販売、美容室の店舗改装及び出店時に必要な美容器具類の販売等、並びに美容室のアシスタントスタッフを対象とした美容技術を学ぶことができる講座である「コタアカデミー」の受講料等の収入を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	830,911
「その他」の区分の利益	24,822
セグメント間取引消去	—
全社費用 (注)	△838,338
四半期損益計算書の営業利益	17,395

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

当該変更により、各セグメント利益に与える影響は軽微であります。